

# 授業実践報告書（高学年ブロック）

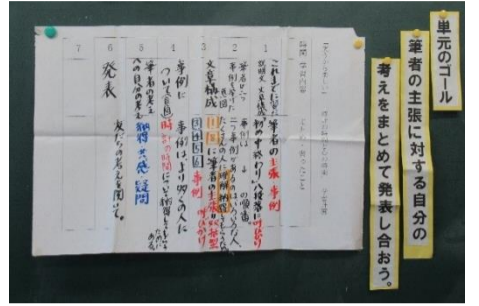
1. 単元名 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えをまとめ、発表しよう  
 教材名 「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／主張と事例」

2 学校課題研究との関わり

【仮説1に対する手立て】

①学ぶことが分かる授業づくり

ゴールとなる活動「筆者の考えに対する自分の考えの意見文を書く」を児童と共有する。教材文から①筆者の意見や意図をとらえ、それに対する自分の考えを事例とともにまとめる力②挙げられている事例の目的を考える力をつけることを明確にした授業づくりをする。単元の学習の流れを掲示し、見通しをもって学習に臨めるようにする。また、自分の言葉でまとめ、振り返る活動を毎時間確保し児童自身が何を学んだか確認できるようにする。

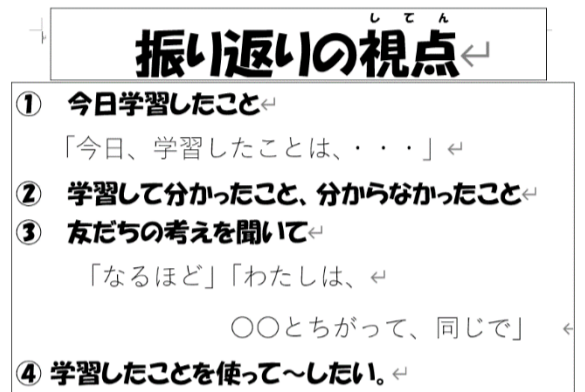


②既習事項を掲示する。

情報と情報の様々な関係を適切にとらえるために、文章の読み方を身につけることに重点を置く。既習事項をおさえるとともに、既習事項+本単元で身につけさせたい指導事項を明確にし、正しく読み学習内容を定着させる。既習事項も、反復的に扱っていく。

③振り返りシートの活用

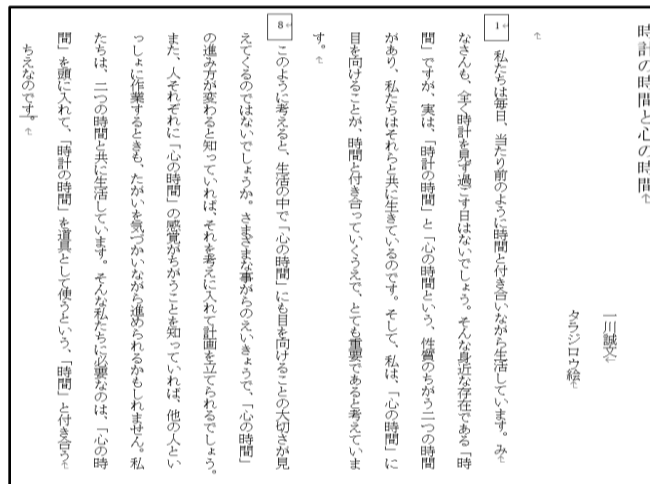
毎時間振り返りを自分の言葉でまとめ、学習したこと、友だちの意見を聞いて深めた考えなどを記述していく。



【仮説2に対する手立て】

①全文シート・本文シートの活用

全文シートを活用し学習を進めることで、段落相互の関係、文章構造をとらえやすくする。また、本時で学習する内容に必要な部分を全文から抽出した本文シートを活用していく。情報と情報の関係をとらえたり情報を取り出し活用したりする力を身に付けられるようにする。



②学習内容に合った情報整理の仕方を板書、ノートづくりに反映する。

情報を整理、分類したり教材の内容を整理したりするために、構造的な板書・ノート作りを進めていく。学びのプロセスを可視化することで、文章の読み方を学んでいく。ノート作りを充実させることで情報を整理し、読み方を身に付けることで教材が変わったとしても自分の力で読むことができる力を育てていく。



③ 対話的な学びの場面を設定する

学習課題に対して、一人一人が自分の考えをもてる活動を設定して学習を進めていく。また、子ども同士の協同での話し合いを手がかりに、考えることを通じ自己の考えを広げ深められるようにする。「国語で難しいと感じることはなんですか。」というアンケートでは、「個人で取り組むと出来ないことがあるけれど、みんなでやればできる。」と感じている児童がいる。対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする活動を行うことで、児童の知識・理解の質を高めることができるようにする。互いの考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させる活動を目指す。

3 単元の目標

- (1) 原因や結果など情報と情報との関係について理解することができる。 〈知識・技能〉 (2) ア
- (2) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C (1) ウ
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C (1) オ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 単元で取り上げる言語事項

論説文を読んで、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、分かったことや自分の経験をもとに考えたことを文章にまとめ、発表し合う。(関連：言語活動例ア)

本単元を貫く言語活動として、「筆者の主張に対する自分の考えをまとめて発表し合うこと」を位置付ける。児童は、主張とそれを支える事例の関係に着目しながら読み、内容と自分の経験・知識を関係付けて自身の考えをまとめ、発表し合っていく。考えには、理解した点、共感した点だけでなく、納得できなかった点やさらに疑問に感じた点なども含めて考えていく。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因や結果など情報と情報との関係について理解している。〈(2)ア〉	①読むことにおいて、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。〈C(1)ウ〉 ②読むことにおいて、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。〈C(1)オ〉	①進んで主張と事例の関係や論の進め方について考え、学習課題に沿って自分の考えをまとめて発表しようとしている。

6 指導と評価の計画(全7時間)

次	時間	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
第1次	1・2	○説明的な文章の筆者の主張や意図を捉え、それに関する自分の考えを発表するという学習の見通しをもつ。 ○「笑うから楽しい」を語句の意味を確かめながら読む。 ○筆者の主張を捉えるうえで、事例を挙げることの効果や、内容に対する自分の考えをまとめる。	○要旨の把握 ○文章全体の構成の捉え方 ○事実と感想、意見などとの関係 ○論の進め方 ○自分の考えの形成 ○筋道の通った文章 ○文章の構成や展開 ○話の内容が明確になるような書き方、話し方 ○話し手の考えとの比較	○「主張」と「事例」という既習の学習用語を押さえる。 ○事例の有無による読み手の理解の違いを交流する場面を設ける。 【知識・技能①】
第2次	3・6	○論説文の読みの手順を確認する。 ○「時計の時間と心の時間」を語句の意味を確かめながら読み、めあてに沿って初発の感想を書く。 ○文章全体の構成を捉える。 ○主張とそれを支える事例との関係に着目して筆者の意図を考える。 ○筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。	○要旨の把握 ○文章全体の構成の捉え方 ○事実と感想、意見などとの関係 ○文章と図表などを結び付けた読み ○論の進め方 ○自分の考えの形成 ○筋道の通った文章 ○文章の構成や展開 ○話の内容が明確になるような書き方、話し方 ○話し手の考えとの比較	○取り上げた事例やその数から筆者の主張の妥当性や意図について考えを話し合う場面を設ける。
第3次	7	○考えを発表して互いに感想を伝え合い、学習を振り返る。 ○「主張と事例」を読み、主張と事例の関係の捉え方について、理解を深める。	○情報と情報との関係付けの仕方 ○図などによる語句と語句との関係の表し方 ○話の内容が明確になるような書き方、話し方 ○話し手の考えとの比較 ○自分の考えの再構築	【思B】引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。[発言・記述] 【思】読み取った説明の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を進んで書こうとしている。 [発言・記述]

7 本時の展開 本時の学習指導(4/7時)

(1) 目標

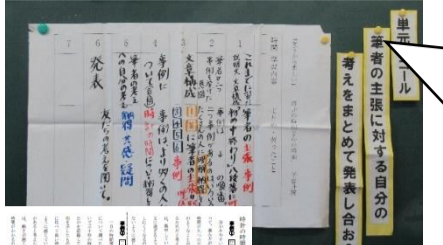





- 形式段落ごとの要点をもとに根拠をもって文章の構成を考え、その効果や論の進め方を確認することができる。
- 文章の内容を捉え正しく理解することができる。

(2) 評価規準

- 筆者の考えの中心を捉えることで、文章の構成をおさえ、その効果や論の進め方を確認している。【知識・技能】
- 「中」で説明されていることを確かめるとともに、全体の内容を捉え正しく理解することができる。【思考・判断・表現】



(3) 本時の展開

学習活動	学習内容	指導の意図と児童の学習の様子
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>・めあてをノートに書く。</p> <div data-bbox="155 379 478 522" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 筆者が挙げた事例の意図を考えよう。</p> </div> <p>2 音読して内容を捉える。</p>	<p>単元目標の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習の確認</li> <li>○既習事項の確認</li> <li>○説明的な文の基本的なつくり</li> <li>○本時のめあての確認</li> <li>○既習事項と関連付けて、学習の見通しを持つこと。</li> <li>・第3段落から第6段落までの事例の部分を読み取る。</li> </ul>	<p>○学習計画を掲示し、見直しをもって取り組ませる。</p> <p>○既習事項を掲示し、活用できるようにする。</p> <div data-bbox="947 329 1360 557" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>第1教材「笑うから楽しい」で学習した内容を掲示し、本時に関わる「事例は身近なものから科学的なもの」という順番にも意図があること、多くの人に納得してもらうために事例を挙げていることを活用できるようにする。</p> </div> <div data-bbox="1205 566 1990 626" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時に関わる、必要な部分を抽出した本文シートを活用する。</p> </div>
<p>3 「心の時間」の特性について、4つの事例を詳しく読んで確かめる。</p> <p>4 事例の順序について話し合う。 (ペアトーク・全体) 【言語活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例が4つあること</li> <li>○事例は、日常的な身近な内容から科学的な内容になっていること</li> <li>○事例と資料の関係</li> </ul>	<p>・練習教材での学習をもとに、順序に意味があることを捉えられるようにする。</p> <p>・資料に図があることから、データをもとにしていることを捉えられるようにする。</p> <div data-bbox="947 961 1633 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>
<p>5 事例の納得度について考え、話し合う。 (ペアトーク・全体) 【言語活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の経験と事例を対応させて、納得度ランキングを考える。</li> <li>○納得度について、理由をつけて伝え合う。</li> </ul>	<div data-bbox="134 1228 898 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例が4つあることを視覚的にとらえられるようにする。事例の意図について考える。自力解決⇒対話(交流)⇒全体で共有。</p> </div> <div data-bbox="961 1323 1150 1762" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たしかに 【共感】←</p> <p>本当かな 【疑問】←</p> <p>なるほど 【納得】←</p> <p>私も ぼくも 実際に 【経験】←</p> </div> <div data-bbox="1192 1329 1969 1436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「納得度」を決める視点を、児童に近い言葉で提示する。自力解決⇒対話(交流)⇒全体で共有。</p> </div> <div data-bbox="1226 1472 1570 1745" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="1583 1673 1982 1792" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>教師 「みんなはどう？」</p> </div> <div data-bbox="1226 1780 1549 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="1583 1822 1982 2000" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>男児 「ぼくは朝と午後同じように感じる。」</p> </div>
<p>6 筆者がなぜ複数の事例を挙げて説明したのかを考え、伝え合う。 (ペアトーク・全体) 【言語活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆者の事例選択の意図について考える。</li> <li>○筆者の立場に立って、様々な事例を挙げている意図をまとめる。</li> </ul>	<div data-bbox="155 1792 1226 1932" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>私は、事例2に納得しました。理由は、朝早い期間だと時間が早く進み、午後はゆっくり進むように感じたからです</p> </div> <div data-bbox="926 2021 1136 2220" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>事例2に一番納得した人は？</p> </div> <div data-bbox="1157 2041 1682 2279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>
<p>7 筆者の説明の工夫を整理する。本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習をまとめる。</li> </ul>	<div data-bbox="953 2297 2053 2398" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ より多くの人に納得してもらい、主張を理解してもらうために4つの事例をあげている。</p> </div>
<p>8 本時の学習をふり返りまとめる。</p> <p>・本時の学習の確認。</p> <p>・振り返りを書く。</p> <p>・学習の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての確認</li> <li>○振り返りの記述</li> <li>○学んだことの確認</li> </ul>	<p>・学んだことが分かるよう、板書を工夫する。</p> <p>・今日学習したこと、練習教材とのつながり、友達の意見を聞いて深めた考えについてなど振り返りを書く。</p> <div data-bbox="932 2564 1220 2783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="1247 2564 1654 2783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返りの視点を参考に、シートに記入する。黒板で今日の学びを思い返しながらかく児童の姿もあった。</p> </div>

【振り返りの様子】

7月8日	7月6日
振り返り① 時計の時間は時計の時間、心の時間は心 が感じる時間だということが分かった。その ころ言葉で文章構成が分かる。笑うから楽し いと構えた。	振り返り② 中、終わりの関係性を調べたいと申した。 うなづいた。この人に理解、納得しても らった。めんどくさい。これからは、初め

7月8日	7月6日	7月5日
振り返り④ 笑うことと気持ちは関係として笑って ると楽しい。楽しいと笑うことが分 きました。また、どうしてなごくで きたのか、かなとも交流で きました。やはり事例や根拠が あると納得する。思いました。	振り返り③ たくさんの方に理解してもらった ための筆者の意図には工夫が つまっている。なごくと思いま す。また事例、選ん方も身近と 科学的なものがある。みんな高 確率で納得するものを選んで いると思いました。	振り返り② 笑うことと気持ちは関係として笑 ると楽しい。楽しいと笑うことが 分りました。また、どうしてなご くできたのか、かなとも交流で きました。やはり事例や根拠があ ると納得する。思いました。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれは教科書で学んでいくため、全文シートを頼るのではなく両方を行ったり来たりして子供が自力読みできるようにしていく。</li> <li>・まとめの場面で、「何を」納得してもらうために事例を挙げているのか、まで深めるようにしていく。本時では「時計の時間だけでなく、心の時間もあるということをより納得してもらうために事例を4つ挙げている。」にあたる。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の始めに児童とゴールを共有することで、「時計の時間と心の時間」に対する自分の考えを持つ時間を蓄積することができた。</li> <li>・文章構成について等既習事項を掲示することによって児童が国語の用語（双括型、初め、中、終わり、筆者の主張、根拠、事例、要点、接続詞）を意識、活用して振り返りが書けるようになってきた。</li> <li>・振り返りの場面では、毎時間同じ紙に書いて積み上げていくことで、児童の変容や振り返りでの表現が見とることができた。また、振り返りを提示することで感想にとどまるのではなく、学習したことを言語化することができた。</li> <li>・対話の場面では、活動内容の確認（2人）、納得度ランキングの記述内容の共有（3人）と目的に応じてグループの人数を変えたことで内容を深めることができた。</li> <li>・自分の経験と重ね合わせて、子供たちはたくさんの感想を持ち、考えを交流することができた。</li> <li>・単元を通して掲示することによって、それまでの学習を使って新たに考えることができた。</li> </ul>